

## 和泊町立中学校のあり方座談会 会議録（概要）

1 日 時 令和7年11月4日（火曜日）午後7時～午後8時

2 会 場 内城字公民館

3 出席者

(1) 内城小学校保護者・教員 9名

(2) 和泊町教育委員会事務局：永井局長、市来指導主事、和田次長、上別府次長  
安田係長、村吉主査

4 会議の内容

(1) 開会あいさつ（永井局長）

(2) 和泊町立中学校のあり方について資料説明

(3) 質疑応答

(4) 終了

5 議事録（発言者、発言内容等を記載）

1. 開会あいさつ

（和泊町教育委員会 永井事務局長）

※省略

2. 会議の進め方と情報公開について

（事務局）

※省略

3. 現状と課題の説明（概要）

（事務局）

説明は、配布した座談会資料に基づき行われた。

4. 質疑応答及び意見交換

（参加者）小学校は基本的に残す方針なのか。

（事務局長）まだ決定ではないですが、皆様のご意見の中で、小学校の児童数が減ってくることがわかっていますけど、地域のシンボルなので残した方が良いという声が多ければ学校を残した方が良いと思いますし、やっぱり地域の方々がどう考えているのかを大事にしたいと考えております。私たち教育委員会の方から、小学校を合併しましょうという方向ではなく、皆様のご意見を聞いた上で、それを総合的に判断して決めていきたいと思っている。中学校の統廃合ありきではなく、ご意見をいただいた上で、今すぐではなく、検討していく時間も必要ではないかと考えている。

（参加者）今、内城こども園の保護者会長をしていますけど、大城こども園と合併しようかという話になっていて、大城小学校も内城小学校も一緒にした方が運動会とか、地域の人達も来やすいのではないかと思う。何で小学校は残すけど、こども園と中学校は一緒にするのかなというところ。田皆みたいに1個でもいいのかなと思っている。

こども園、小学校、中学校まで一緒になれば、地域の人たちも参加しやすいし顔も覚えられるのかなと思った。

（事務局長）この間、こども園の統廃合の話がありましたよね。合意形成がとれない中で話を進めていくという形でしたので、再度見直しをして白紙に戻すというようになっていると

思う。現在は、こども園の統廃合をするという方向性ではないという状況だと思う。私もその会議おりましたけども、もっと意見を出し合って考える時間が少し短過ぎたというところもあると思うので、そういう反省点も踏まえて、いろんな資料を提供して皆さんに考えていただいて、それで私たちの集落、または校区にはやっぱりこういった学校のあり方が望ましいということを、地域の皆さんから聞き出したいと思っている。

(事務局) ちなみに先週研修に行きました、H地区っていうところがありまして、そこはもう児童生徒数が1人とか2人とか3人とかになって、地域の方から学校の統廃合に関する要望があつてやるタイプと、F町のように、こども達にとって中学年代は、心も体も成長する大事な3年間なので、中学校は統合しますと、行政の方から進めていく方法と大きくふたつある。我々も結構いろいろな事例を調べながら、いろんな地域によってシチュエーションが違うので、皆さんからご意見を伺って、何がこの地域のこどもたちにとっていいのかというところを考えたいと思っている。なぜこの座談会を開催するかというと、学校が老朽化しているので、昨年の内城小学校のように改修工事しないといけない。そのためには、まず計画を立てる。例えば令和10年度は和泊小学校の大規模改修しますとか、そういう計画が今の段階では立てることができない状況である。地域の皆さんや保護者の皆さんが、やっぱり学校を残したいということであれば、残す前提でこの計画を立てていく。将来を見据えて、地域の皆さんのご意見を伺いたい。もし、地域の皆様から「統合をしてほしい」という声が上がって、統合に向けていくとしたら、まずは有識者を入れて、地域の代表の方、PTA会長や保護者代表の方とか、いろんな方たちを大体15名から20名ぐらい入れた、あり方検討会を開催する。これは城ヶ丘中学校校区だけではなくて和泊校区も入れる。そこで統合となれば、町長に答申を出す。統廃合が決定してから、大体どこの地域も新しい学校のスタートまで3年ぐらいかかる状況。それまでに条例の変更も必要。F町の場合は、学校を新しくするので、例えば学校名、校歌、校章、ロゴ、校旗等も変更する予定と伺っている。そのための準備委員会も立ち上げないといけない。そういう形でスケジュールとしては進んでいくと想定している。H地区も開校まで2年ぐらいかかるかもしれないとのこと。

(参加者) F町では、1026世帯にアンケートを配布して、366件しか回答していない中で、多数決で中学校の統廃合が決まったのか。

(事務局) 回答率35.6%のなかで、統廃合した方が良いと回答された方が多かったと伺っている。7月に行ったアンケートについては、少人数校のある校区のみで行ったとのことで、大人数校区ではアンケートを取っていない。和泊町に例えると、城ヶ丘中学校区でアンケートをして、和泊中学校区ではアンケートを取っていないというイメージ。

(事務局長) 回答率35.6%は、少なく感じると思うが、平均的なアンケートの回答率は40%未満となっているので、決して低い回答率ではないということをご理解いただきたい。

(事務局) D町においては、H中学校というところがあり、全校生徒が35名ほどですが、4年間ぐらいは50名ぐらいで推移するということで、まだそんなに極端に減らないことからH中学校は残して欲しいという住民の声もあるとのこと。D町としては、心も体も成長する中学校の3年間においては、ある一定程度の人数がいる教育環境が、こどもたちにとって望ましいという方針があり、このまま進めていきたいとのこと。

(参加者) 和泊町もやっぱり多いところの中学校に集約される感じになるのか。城ヶ丘中学校に統廃合するとかはないのか。

(事務局長) そこはまだ、和泊の場合はどうなるかわからないが、D町の場合は、町の中心

にF中学校があって、H中学校とG中学校は少し離れてはいるところにある。新しく中学校を整備（新築）するのではなく、F中学校の校舎を活用して、学校名、校歌も全部すべてリニューアルすること。やはり学校がなくなるということは寂しいことなので、どの学校も平等に考えているのだと思う。例えば、もし本町のふたつの中学校が合併することになったとしても、新しい中学校名になるというイメージを持ってもらえればと思う。

（参加者）スクールバスはどうなるのか。

（事務局）C地区もD町もスクールバスは、必須事項として検討しているとのこと。D町に伺って驚いたことが、スクールバスの費用（民間委託）に年間3,500万円ほどかかるとのこと。したがって、D町は、財政効果というよりも、本当にこどもたちの教育環境ということを重視していると感じた。各市町村でもスクールバスの運用方法はいろいろあると思う。

（事務局長）必ずしもマイクロバスを町が持つ必要はないのではないか。購入した場合に維持管理費も必要になってくる。ちなみに、E町の場合はマイクロバスが8台ある。

（事務局）E町は、幼稚園から中学生まで、スクールバスで送迎している。土日も部活をする子のために3台稼動させているとのことで、確認はできていませんが、相当な委託費だと思う。

（事務局長）かなり充実した方のサービスかなと思っている。

（事務局）私の方で少し試算してみたところ、城ヶ丘中学校の学校運営費と任用職員・会計年度職員の費用を合せると、年間約2,000万円を和泊町予算から支出している。ただ、城ヶ丘中学校の教職員13名（県職員）の皆さんのがいなくなった時の地域経済の減収予想額は、約2,000万円。国勢調査の人数で交付税という国からおりてくるお金が変わってくるので、それも合わせると大体2,300万円くらいの経済効果はなくなる。ただ、校舎の大規模改修になると費用が多くかかる。

（参加者）中学校どっちか使うとするじゃないですか。その場合はどっち使ったとしても別にそんな大きなお金が動かないということか。

（事務局）既存の、例えば城ヶ丘中学校と和泊中学校が合併するとなれば、和泊中学校は2クラスずつあるので大規模な改修の必要はないですが、和泊中学校が城ヶ丘中学校に来るとなると、今1クラスずつしかないので改修工事が必要になってくる。和泊中学校も生徒数が少なくなってきた場合は、城ヶ丘中学校に和泊中学校を持ってくることも可能だと思う。

（参加者）そうすると、城ヶ丘中学校を和泊中学校に合併するのが現実的ということか。

（事務局長）中学校を統合するのであれば現実的なところではあり、経費的に考えたときはそういうことになりますが、座談会の中では、地震や津波の心配等もあるというお声をいただいています。そういう不安な面などがありましたらどんどん言っていただいて、それを基にまた我々も意見を集約していきたいと考えています。

（参加者）和泊中学校の保護者にはこういうアンケートを取っていますか。

(事務局長) 今からです。今後必要性があるとなったときにアンケートを考えている。D町も、まずは、G中学校区とH中学校区（少人数地区）からアンケートを取り、後からF中学校区（大人数地区）でもアンケートをしたと聞いている。大城小学校保護者向け座談会でも、和泊中学校区でも座談会をしてほしいという声をいただいている。

(参加者) 今、内城小学校に他のところから通学している子が1年生とかいるけど、和泊中学校の保護者の人に学校選択制というのがあれば、城ヶ丘中学校に来たいという子はいないのかなと思って。

(事務局長) そういうアイデアをいただければありがたい。現状として、学校選択制はない。大城小学校区と内城小学校区は、城ヶ丘中学校に行くと決まっていますが、そこで例えば部活がしたいから、和泊中学校に行きたいという生徒もいる。そのような時は、校区外就学申請をしていただいている現状である。おっしゃったような選択制というのは、区域外とか校区外が、なくなったような状況になってくるのかなと思いますが、それもひとつの、今後の提案としては必要なことだと思っている。

(参加者) そうした場合、必ずこっちが増えるっていうことでもないわけですよね。和泊校区から城ヶ丘校区に行くことができますよというのは良いかもしれないけど、城ヶ丘校区から和泊校区に行けますよとなったらぶん出でいく方が多いかもしれない。それは違うのではないかと思う。

(事務局長) いろんな意見もある中で、以前は内城小学校で、他の校区から募集しようと。児童数が減ったので、小規模校の特認校という指定を受けて、伊延字からとかバスで通学されていたという経緯はある。なので、いろいろやり方はあると思う。

(参加者) 今のところ制度として選択制というのがないだけで要望というか申請を出せば、城ヶ丘中学校区だけ和泊中学校に通うこともできるということなのか。対応してもらえるのか。

(事務局長) 一応、当然申請理由による。やっぱり大人数のところには、自分は適さないというような判断を保護者やお子様がされた時、そういった時には学校を変えたりとかして、学校が変わると不登校の子が学校に行きたくなったとか、そういう変化が出てくる場合もあると思う。そういうような選択するというか、この学校ではなかなか合わないけど、次の学校行ったら、もしかしたら学校に馴染めるといった期待もあったりする。そういう場合の選択制は必要ではないかと思う。

(参加者) 申請理由は必要としても、そういうことを考えて対応していただけるっていうのが現状としてある。中学校を1校に統合するにしろ、2校のままにしろ、2校の状態で、例えば大人数の学校にはなかなか馴染めないという子もいるとのことなので、学校に行くのが困難になってしまっている子の受け皿として、あるのとないのでは大違いと思う。これが1校になりましょうとなつた場合に、その受け皿を作る余地または心構えがありますよというか、やっぱり意見が出れば考えるんですかね。

(事務局長) そういうご意見がありますが、例えば学校がひとつになったときに、中学校ひとつしかなければ、ちょっと今学校に行くのを渋っている子がいるとして、じゃあ知名中に

いくのか、それはちょっと考えるよねと。やはり城ヶ丘中学校か和泊中学校の選択があった方が保護者としてはありがたいと思う。他にも民間でダヴィンチさんとかそういったところが受皿としてはありますが、そういうところはあくまでも民間事業者であって、教育委員会としては、なるべく学校に行って欲しい、来てほしいという気持ちが最終的にありますので、学校の中で登校できないこども達のクラスを作るとか検討しなければいけない。今後そのような支援が必要なこどもたちが増えてくるというふうに言われている。生徒数が減少してきて、校舎自体も空いてくるかもしれませんし、教員の先生方が少なくなってくる。またそこに支援室の増築が必要の場合も出てくるなど、今後考えていかなければならぬことがある。そういうことも含めてご意見をいただいた中で、教育委員会としては、対応方法を考えていかなければならぬと考えている。

(参加者) 今日、一応保護者に呼びかけたのですが、この人数しか集まらなくて、一応この資料も携帯で流してもらったのですが、少ししか見られなかった。来られなかつた方は、全く読んでないと思います。

それが現状を知らないっていうので、この夜の集まりというのはなかなか出て来られないと思うので、もし可能であればPTAの時にしてくれたら来る方が多いと思う。夜はなかなか出て来られる方が少ない。できればPTAで説明をしていただけるともっといろんな意見が出てくるのではないかと思う。

(参加者) 実際、僕も前回城ヶ丘中学校の座談会にも出ましたけど、やっぱりそこも出席者が少なかつた。多分こんなもんなのかな。考えている人がこんな数しかいないだろうなって思う。前回参加してすごい為になったので今回もまた来たところ。じゃあ今度地域の校区で座談会をするってなった時にも、実際どれだけ集まるのかなというのが正直なところ。資料を見ても内城小学校は意見が少なかつたので、前回見た時の事前アンケートの結果、僕もたぶん回答した記憶がなかったからなのですが、この内城校区の意見の無さはこんなもんかと思ってびっくりした。でも、正直、学校の統廃合はまだ先なのかなっていうふうに思う。実際うちの子が、合併するときに中学校卒業しているかもしれないとなった時には、当事者としてあまり思わないです。

(事務局) 大体どこの地域もそのようなご意見があると聞いている。

(参加者) 僕も地元じゃないから。特にそこはたぶん、地元の人よりはそう思っているのかなという。本当は地元の人たちが来て、いろんな意見を出してくれる方が、すごく伝わるはず。

(事務局) またPTA等でもお声がけいただければ、我々も伺いますし、この座談会の会議録というのは、どなたが発言されたのかわからないような形でホームページ等を活用し、公開している。会議録の資料の量が多く配布はしていないが、「和泊町あり方」っていう形でインターネットやスマホで検索していただけたら、座談会でどのような意見が出たのかを確認することができる。配布した「座談会前のアンケート」は、出欠確認と一緒に皆様に入力してもらったものを掲載している。「座談会後のアンケート」も同様。

(事務局長) 今のお子さんが卒業された頃に、もっと子どもの数が減ってきて、私ももう小学校と中学校にこどもはいませんから、学校に行くかとなるとなかなか足が遠のいてしまっている状況である。学校の方で運動会があるから、見に来てくださいっていう案内があるわけでもない。和泊小はないが大城小とかは運動会で地域対抗のようなものがあるので、そち

の方にお声がけいただきて行ったことはありますけども、そういう声掛けをいただかない限りはちょっとなかなかそういったところには参加しなくなってくるのかな。でも学校がなると寂しいというアンケート結果や意見もありますので、子どもが卒業したあと学校はどういうふうに関わっていくのかそういったところもぜひ考えていく機会になればなと思う。学校を残して欲しいというのはみんな思っていると思うし、自分の母校とかがなくなるのは寂しいと思うのですが、やはりお子様がどういうふうな大人になって欲しいのかというところ、どういった学びをしてほしいのかというところを考えていくべきかと思う。

(参加者) この前の座談会で部活動の地域クラブの関係で止まっているような発言があつた。実際そっちの方が先に動いてくれないと困っている方は、実際いるのではないか。はい。合併はまだ先の話にしても、そこは進めていかないといけない。実際、今、城ヶ丘中学校には男子バレー部がないから和泊中へ練習に行っているのに、試合に出場できないということが起きている。

(事務局長) そこにつきましては、現在新たな要綱を作っておりますし、鹿児島県でも伊佐市でそういう対策をしており、城ヶ丘中学校に部活がなくても、和泊中学校の男子バレー部で活動ができる拠点校方式というやり方がある。和泊中学校男子バレー部も4名しかいない。城ヶ丘中学校の1名と知名中の1名を入れて合計6名。城ヶ丘中学校と知名中の生徒がいて和泊中学校バレー部が成り立っている。現在は、部活に顧問を置かないといけないが、城ヶ丘中学校は先生の人数も限られており顧問がいないため新しく部活を作れない。ひとつの方策として顧問を置かなくても、和泊中学校のバレー部に参加できるという拠点校方式が適用できればと考えている。ただし、和泊中学校が受入れを承諾した場合という条件がある。これは、知名町とも連携しながら検討しているところである。

(参加者) ぜひ、それは早くやってほしい。

(事務局長) サッカーとかは奄美大島でも地域展開の前にクラブ化されているという話だったので、沖永良部島もサッカーについては、地域クラブ化にはなっているような状況。今後の課題は、今は国の補助金があり外部コーチに謝礼を支払っているが、その財源が限定的なので、そのなくなった時にどうしていくのか。どこかの自治体は、1人年間2000円の会費を集めて講師、指導者には、謝金はなしというやり方でやっているところもある。ただ、遠征に行くだけは保護者の負担がある。そういうやり方でバレー部がクラブ化している事例はある。

(事務局) 今のままで、城ヶ丘中学校の生徒さんが、例えば和泊中学校に合併したとしても、練習時間が短すぎるとか、部活に行くために午後4時とかに送迎とかは、仕事をしているので厳しいというのが多分現状だと思う。鹿児島のサッカークラブチームはたくさんあって中学校のサッカー部に入らずに、クラブチームに入る子が多くなっている。それは練習を午後6時から8時までやっている。保護者が仕事終わった時に送っていて、そうすれば、練習時間確保できている。クラブ化になればそのような対応も可能になると思う。先ほどの拠点校方式につきましては、あまり県内の事例がないところですが、教育委員会の方で要綱作成や準備を進めている。

(事務局) 我々が持っている情報や教育環境の現状を包み隠さず資料に載せていますので、それを元にご家族や友人、地域の方と話していただきたい。

(参加者) 最終的に統廃合って誰が決めるのですか。町長ですか。

(事務局長) 統廃合は最終的に地域の方々からそういう声が非常に多くでてきて、地域の方から学校の統廃合をやって欲しいという声があって、検討会をもって決定しますけど最終的に判断するのは当然町長になると思います。

(参加者) 今現時点で前町長はどのようにおっしゃっているのか。

(事務局長) 今のところはまだ不透明です。例えば、小学校もやっぱり大事だから残そうという声もあったり、大人数で勉強させてあげたいという気持ちもあったりする状況だと思う。当然、私たちもこども達にとって何が最善の選択なのかわからない状況なので、今すぐ結論を出すのではなく、令和10年、15年とかその辺に、向けて今から皆様と協議をしていきたいと思っていますので、そういう意味ではアンケート等も計画している。

(参加者) 学校を残すにしても統合するにしても、どっちも良い面はある。自分達がこどものころは大規模校で育っているので、と思うと小規模校がかわいそうっていうのもまた違う気がする。小規模校が良いと思う部分もいっぱいある。どっちとも言えないですよ。実際に娘は和泊中学校のような大きな学校に行くというのは嫌だって言っているので、そういう気持ちはどうやってフォローしてあげればいいか。不登校も増えているのが現実だし、その部分も不安だし、制服変えるとか言っている学校もあるし、世の中がいっぱい変化していくに遅れないようにしないといけないと思って座談会に来た感じですかね。

## 6 閉会

参加者に対し、アンケートの回答は今後の方向性を決める大事なデータになるので、回答について重ねて強く要請し、閉会した。今回の座談会に参加できなかった保護者に対しても、今後の内城・大城での住民向け座談会や住民説明会への参加を呼びかけた。